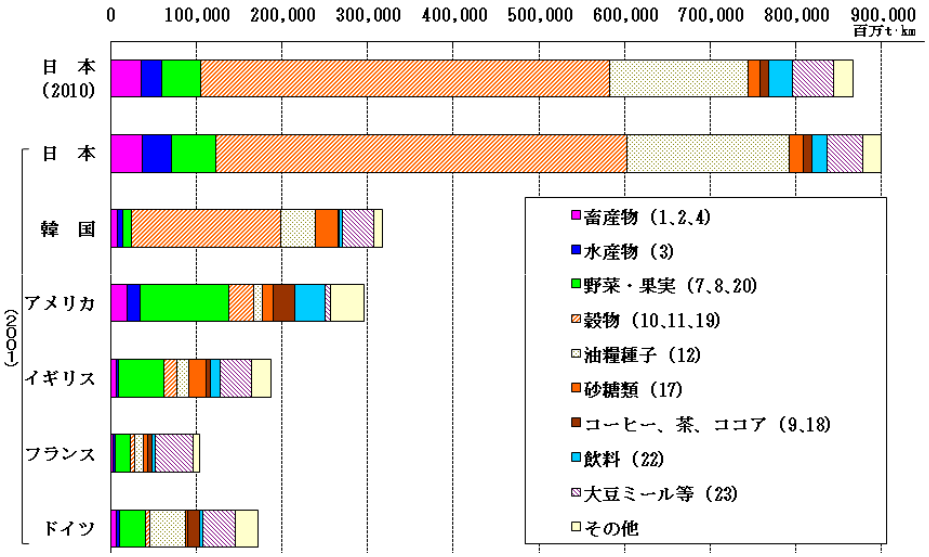
輸入食料のフード・マイレージの比較（品目別）



出典：中田哲也「フード・マイレージ－あなたの食が地球を変える」（2007、日本評論社）等

③

日本の食料輸入に伴う二酸化炭素排出量

１６．９ 百万ｔ　注：輸送のみ。冷蔵等による排出量は含まず。

（日本国内における食料輸送に伴う CO2 排出量の *1.79 倍* ）

大地を守る会「フードマイレージ・キャンペーン」

一世帯当たり年間　**約３８０ｋｇ**

家庭での取組の例	年間削減量	
冷房を1℃高く暖房を1℃低く設定	：約 33 kg	→ 約12年分
1日5分間のアイドリングストップ	：約 39 kg	→ 約10年分
シャワーを1日1分家族全員が減らす	：約 69 kg	→ 約 6年分
1日1時間テレビ利用を減らす	：約 14 kg	→ 約27年分

参考：環境省パンフレット「身近な地球温暖化対策」（2007.4）

○ 「地産地消」のメリット

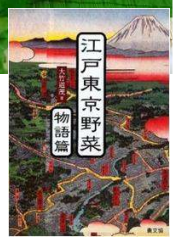
消費者サイド ①　新鮮で安価な食材の入手、②「顔の見える関係」－安心感

生産者サイド ①　現金収入（少量多品種生産）、②　地域の活性化

更に 、**輸送に伴う環境負荷低減** の面でもメリット。

④

江戸東京・伝統野菜研究会
大竹道茂 氏



小金井市「江戸東京野菜でまちおこし」

早稲田ミョウガ捜索隊

「マルダイ大塚好雄商店」（品川区）

練馬大根引っこ抜き大会

ひご野菜コロッケ「ひご之すけ」（熊本市）

⑤

押上「よしかつ」佐藤勝彦店長

伝統小松菜使用量　0.5 kg

小松菜産土神碑　新小岩・香取神社

地産地消の効果測定：伝統小松菜のフード・マイレージ等を計算

ケース1の輸送距離　4.2 km

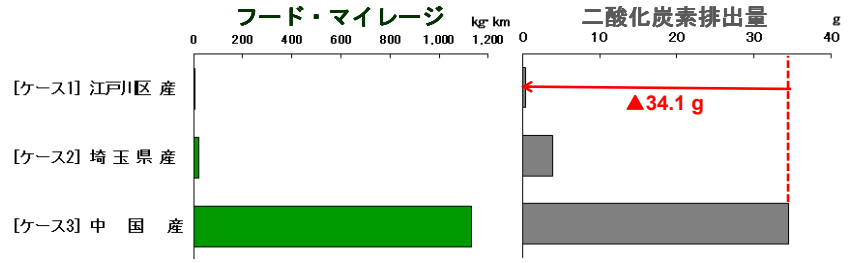
生産地
ケース1 江戸川区産
ケース2 埼玉県産
ケース3 中国産

ケース3の輸送距離　2,263 km

⑥

伝統小松菜のフード・マイレージ等の比較

	輸送距離	フード・マイレージ	CO2排出量
[ケース1]江戸川区産	4.2 km	2.1 kg・km	0.4 g
[ケース2]埼玉県産	43.7 km	21.9 kg・km	3.9 g
[ケース3]中国産	2,263.0 km	1,131.5 kg・km	34.5 g
（倍率：地産地消＝1）			
[ケース1]江戸川区産	1.0 （倍）	1.0 （倍）	1.0 （倍）
[ケース2]埼玉県産	10.4 （倍）	10.4 （倍）	10.4 （倍）
[ケース3]中国産	538.8 （倍）	538.8 （倍）	91.3 （倍）



江戸川産の伝統小松菜（0.5kg）を使うことで二酸化炭素排出量を 34.1 g削減 ⑦

cf.（1世帯1日当たり） 冷房の温度を1℃高く：▲90g、テレビを1時間短く：▲38g

フード・マイレージの限界・問題点

1 輸送機関による環境負荷の違い

二酸化炭素排出係数（出典：国土交通省「交通関係エネルギー要覧」、平13・14年版）

営業用普通トラック	180 g-CO2 / t・km
鉄道	22
外航船舶（ﾊﾞﾙｶｰ）	10
（ｺﾝﾃﾅ）	21

➡ *モーダルシフトの重要性*

エコレールマーク

2 フード・マイレージは輸送に限定された指標

生産や加工、消費、廃棄面での環境負荷は考慮せず。

： 例えば、粗放的に生産された食品を船で輸入すれば、国内で集約的に生産するより、トータルの環境負荷は小さくなる可能性。➡ *LCA、カーボンフットプリント*

フード・マイレージのメリット

：概念、計算方法ともに分かりやすく、具体的な実践に結びつけやすい。

循環型社会に向けた「気づきのきっかけ」に。➡ 旬産旬消、なるべく食べ残しはしない。

「都市農業は日本農業の先駆け」（農林中金総研・蔦谷栄一氏）

世界の潮流
ローカリゼーション
スローフード
CSA、LOHAS

中田哲也 （勤務先）農林水産省 統計部 数理官

E-MAIL；tnakata@affrc.go.jp

【詳しくはウェブサイト「フード・マイレージ資料室」をご覧下さい。】 ⑧

http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/fmtop.index.html

2012. 9/13（木） エコ・ビーイング（中央区）との意見交換会資料 ［於 押上よしかつ］

食と農をめぐる情勢とフード・マイレージ

私たちの「食」をめぐる世界と日本の多くの問題

世界では 栄養不足人口は 9億2500万人

国際価格の高騰、食料需給はひっ迫基調

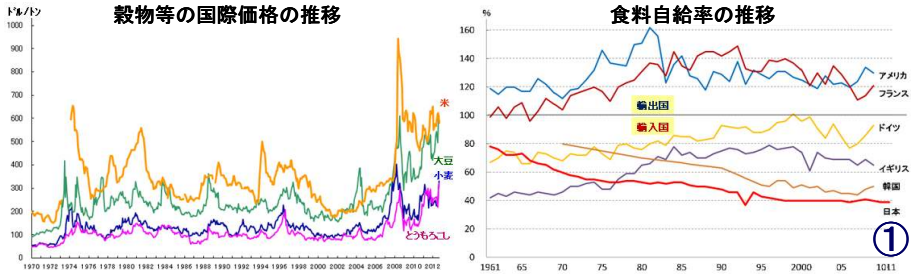
（世界的干ばつ、人口超大国の所得向上、バイオ燃料、砂漠化）

国内では 食料自給率の低下：（カロリーベース 39%）

食料の約3割（約1900万トン）を廃棄・食べ残し。

農業所得の半減、高齢化（平均66歳）、耕作放棄地の急増（40万ha）

食に対する不安感の高まり：「食と農の間の距離」の拡大



① ②

地球とつながる私たちの食

私たちの食生活が地球規模の環境や資源に与えている負荷

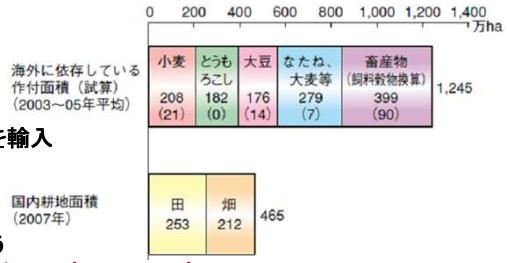
土地 国内農地面積の2.7倍の海外農地に依存

水 国内の灌漑用水量以上の「仮想水」（バーチャル・ウォーター）を輸入

地球温暖化

大量の輸入食料の長距離輸送に伴う

大量の二酸化炭素の排出→ 突出したフード・マイレージ



「フード・マイレージ」とは

○ イギリスの“Food Miles”運動

「なるべく近くで取れたものを食べることにより、食料輸送に伴う環境負荷を低減。」

○ 計算方法 ： 食料の輸送量×輸送距離、単位：t・km（トン・キロメートル）

○ 特色 cf.食料自給率は距離の概念を含まず

- 食の安定供給、安全性の確保（ﾄﾚｰｻﾋﾞﾘﾃｨ）
- 食料の輸入が地球環境に与える負荷の把握

身近な日々の食生活が地球環境問題と関わっていることに気付くヒント。